

## 沿線を走って、つないで

### 「只見線リレーマラソン」開催

J R只見線から会津若松駅までの28駅27区間をタスキで繋ぐリレー形式のマラソンイベント「只見線リレーマラソン」が4月4日に行われました。走ることで沿線の魅力を再発見し、「マイレール意識」を高め、只見線を応援しようと開催されています。3回目の今回は只見町や金山町の有志のほか、柳津町や会津美里町などからもランナーが参加し、36人がタスキをつなぎました。事務局の目黒英樹さんは「沿線や駅で応援してくれた皆さんに感謝。第10回まで走り続けたい」と話しました。



▲会津若松駅にゴールしたランナーとスタッフの皆さん

## 待ち遠しい春が来た！ 只見線全線再開通でお出迎え



▲只見線に手を振る只見小の児童と教職員の皆さん

雪の影響で一部区間で運転を見合わせていたJ R只見線が、4月7日に全線での運転を再開しました。当日はJ R只見駅に只見小の児童や教職員、只見町インフォメーションセンターの職員らが集まり、乗客を出迎えました。只見駅前では甘酒が振る舞われ、一時下車した乗客が味わっていました。

町外から訪れた乗客は「只見町は何度も来ている町。また只見線に乗って、町内での食事、登山や景色を楽しみたい」と話しました。

## 只見での新生活が始まる 「山村教育留学生対面式」開催

「只見町山村教育留学生第25期生対面式」が4月9日に只見公民館で開催されました。県内外から9人の山村教育留学生が只見町での新生活をスタートしました。

対面式では、渡部町長と佐藤町議会議長からお祝いの言葉が送られた後、山村教育留学生一人一人から将来の夢や只見高校での3年間でやりたいこと、目標に向かって努力する決意などが発表されました。奥会津学習センターのスタッフは「つらいことや困ったことはぜひ町内の話せる人に相談してほしい」と山村教育留学生にメッセージを送りました。



▲新生活を迎える山村教育留学生9人

## 朝日地区をきれいにしよう！「ちょボラごみ拾い」実施

「ちょボラごみ拾い」（朝日地区地域づくり委員会主催）が4月18日に行われました。昨年度から朝日小学校の学校行事として開催され、朝日小学校児童や地域住民ら約150人が参加しました。

ちょボラごみ拾いは地域住民が環境美化に取り組むとともに、ごみ問題や環境問題への意識の高揚を図ることを目的に、子どもから大人まで一堂に会する『ちょっとしたボランティア活動』として開催されています。参加者は地区内の国道や県道などで丹念にごみ拾いを行いました。



▲ごみ拾いに集まった地域住民の皆さん

## 皇子・以仁王の足取りを辿る「歴史講演会」開催



▲来場者は山崎氏(写真左)の説明に、熱心に耳を傾けました。

歴史講演会「皇子・以仁王、八十里を越えて—歴史に消された真実」（会津只見史談会主催）が4月18日に朝日公民館で開催されました。町内外から75名が来場しました。

講師の山崎玲氏は、平安時代の皇子・高倉宮以仁王について、平家との争いのなか、京を脱出して会津に逃れたとの説を研究しています。講演では、以仁王が長浜や楢戸、叶津や八十里を訪れたときの話を説明されました。山崎氏は「只見の人にこそ以仁王を知ってほしい、愛してほしい」と締めくくりました。

## 地球の課題を只見で考える 只見町×地球元気村 特別フォーラム開催

特別フォーラム「世界が憧れる只見をつ・く・る?!」（只見地球元気村実行委員会主催）が4月18日、只見公民館で開催されました。町観光大使である冒険家・風間深志氏が代表を務めるNPO法人「地球元気村」と町は、令和8年にさまざまな協働プロジェクトを展開していきます。今回の催しはその第1弾となります。

基調講演では、東北大学の石田秀輝名誉教授が環境負担の少ない生活様式への転換を説きました。対話では渡部町長と町民代表の平山真恵美氏が、町での暮らしや自然を語り、意見交換を行いました。最後に、風間氏のふるさと、山梨県の郷土料理「ほうとう」が参加者に振る舞われました。



▲対話する(左から)風間氏、平山氏、石田氏、渡部町長

## 地域探究の活動成果を発表

### 只見高校「総合的な探究の時間 最終報告会」開催

只見高校生による「総合的な探究の時間 最終報告会」が4月25日、只見高校で開催されました。3学年26名が6班に分かれ、町内における「森林・自然」「食・農業」「観光・暮らし」をテーマに、活動の成果を発表しました。

各班は、自然環境の魅力発信や子ども向けの体験企画、地域の方々と協力して開発した商品などの取り組みを、1・2年生や地域の方の前で発表しました。発表後は会場から質問や感想があげられ、地域の方からは「先輩たちの活動を引き継ぎ、年々クオリティが上がっている」と評価する声もありました。



▲成果をスライドにまとめて発表しました

ひゃくみだんす

## 百味筆筒から紐解く、漢方医療の歴史

### 「『芍薬の里・只見』一般公開セミナー2026」開催



▲資料の持つ価値について、調査した専門家が考えを述べました

「『芍薬の里・只見町』一般公開セミナー 生薬と花の町へ(その2) - 河井継之助記念館所蔵 百味筆筒が伝える漢方の世界 -」(有限責任事業組合クラウドゥ只見主催)が4月25日、只見公民館で開催されました。

講演では、薬草や漢方の効能、組合の活動について説明されました。また、昨年行われた河井継之助記念館所蔵の百味筆筒に関する調査についても解説されました。調査によると、塩沢村医・矢沢家で処方されていた漢方は、現代と同等の種類が整理・保存されており、専門家らは当時の医療文化を知ることができる資料だとの見解を示しました。参加者は町に伝わる生薬や漢方の歴史について理解を深めていました。

## 大人から子どもまで、みんなで大盛り上がり！

### 「大倉 桜まつり」が初開催

「大倉 桜まつり」(大倉区主催)が4月26日、大倉地区で開催されました。地区の活性化や町の発展に希望を持っていけるよう、今年初めて企画されました。

地区内外から30名以上の、のど自慢が集まり歌声を響かせました。大倉サロンと子どもたちによる踊りも披露され、観客から拍手が送られました。また、夜には色鮮やかな花火が打ち上げられ、夜空を彩りました。



▲歌や踊りを特設ステージの上で披露しました



▲暗くなってからは花火を楽しみました